

観光資源等保全特別委員会 報告

1. 委員構成

委員長：今津 和喜夫

副委員長：中川 敬雄

委員：若林 高、荒谷 啓一、一色 眞一、辰川 志郎、中谷 喜英、川下 勉

2. 調査目的

観光資源等保全に関する調査研究

3. 調査期間

令和3年12月8日～令和4年9月26日

4. 委員会等開催状況

	委員会	委員協議会	行政視察	現地視察
令和3年	1回	0回	0回	0回
令和4年	3回	1回	1回	1回
合計	4回	1回	1回	1回

5. 協議・報告事項件数

5件（令和3年：1件、令和4年：6件）

6. 行政視察（令和4年7月4日～7月5日）

●岐阜県高山市

高山市SDGs未来都市計画について・高山市歴史的風致維持向上計画について

高山市では、町並みの保存に積極的に取り組んでおり、伝統的建造物群保存地区の指定を受けている各地区に町並み保存会があり、町並みの保全に重要な役割を担っているとのことであった。

また、高山市歴史的風致維持向上計画を策定し第一期は平成20年度から平成29年度までの10年間、第二期は平成30年度から令和6年度までの7年間で取組を行っており、これらの取組を行うことで、町並みや景観の再生を図り、賑わいの創出を目指しているとのことであった。



岐阜県高山市

●岐阜県下呂市

下呂市の観光計画について・廃業宿泊施設の更新に関する経験について

下呂市では、特色のある自然・文化資源が多く点在しており、そういった資源を持続的に保全・活用し、継承していくため、「自然・文化資源を活用した観光まちづくり」及び「資源の持続的保全にかかる仕組みづくりと環境教育の促進」、「持続可能な活動と地域活性化のための環境づくり」を目的としたエコツーリズムを推進しており、観光地域づくり法人（DMO）とエコツーリズムの連携体制「E-DMO」を組織しているとのことであった。

さらに、廃業となった旅館跡地を整備し、建設された下呂市観光交流センター「湯めぐり館」を見学し、土地の取得から建設に至るまでの対応について、説明を受けた。



岐阜県下呂市

7. 現地視察（令和4年2月10日）

水資源の保全について調査・研究を行うため、山中浄水場及び七日市送水ポンプ場の見学を行った。



山中浄水場



七日市送水ポンプ場

8. 調査の結果及び今後

本委員会では観光資源の保全ということをテーマに掲げ、これまで水資源の保全や観光地における資源の保全について、調査・研究を行ってきた。

水資源の保全については、加賀市の水道の概要や石川県における水資源の供給源としての森林の保全に関する条例について、市当局から説明を受けたほか、山中浄水場と七日市送水ポンプ場の現地視察を行い、改めて当市の水資源の重要性を認識した。

また、観光地における資源の保全については、令和4年5月12日に、オンライン形式で立教大学観光学部の西川准教授と意見交換会を行い、観光地に有効と思われる施策の紹介や他市における廃業施設対策の先進事例や、基金を活用した取組内容などについて解説を受けた。また、7月4日から5日にかけて他県の自治体へ行政視察を行い、廃業となった観光地の宿泊施設に対する取組について、調査・研究を行った。

以上の調査・研究の結果、観光地における廃業旅館へのさらなる対策を講じる必要があり、今後、観光地としての温泉地の維持・発展のため、当局に対し、廃業宿泊施設への対策として基金の設立の検討を求める「観光地としての温泉地の維持・発展のための提言書」を提出することとし、観光資源の保全への取組がより一層なされるよう要望するものである。